

地域の絆と安心な暮らしに関する調査票の 変更点について

和光市保健福祉部健康保険医療課

●健康状態について

問5. 家族や友人からの支援について、最もよくあてはまる選択肢一つに○をつけてください。

	全く 思わ ない	やや 思わ ない	ど ち え ら な い も	や や そ う 思 う	か な り そ う 思 う
1) 運動のやり方について、アドバイスや指導をして くれる	1	2	3	4	5
2) 運動に時間を使うことを理解してくれる	1	2	3	4	5
3) 運動するように励ましたり、応援してくれる	1	2	3	4	5
4) 一緒に運動をやってくれる	1	2	3	4	5
5) 運動することについて、ほめたり評価してくれる	1	2	3	4	5

対 象: 全年代
東京都健康長寿医療センター提案

運動や健康行動を促進するには「周囲からの支援」が重要であるとされている。
⇒市民の運動実施への支援状況の実態を把握し、健康づくりの施策決定における資料とするため追加

●ライフスタイルや食生活について(1)

問6. あなたの普段のライフスタイルについておうかがいします。（〇は1つずつ）

1) 現在の睡眠で休養が十分とれていますか	1. はい	2. いいえ
2) 過去1年以内に、健診（健康診断、健康診査および人間ドック等）を受けましたか	1. はい	2. いいえ
3) 過去1年以内に、歯科健診を受けましたか	1. はい	2. いいえ
4) 過去1年以内に、治療を目的に歯科を訪れましたか	1. はい	2. いいえ
5) 過去1年間で体重の増減が±3kg以上ありましたか	1. はい	2. いいえ

対象: 全年代
和光市提案

治療を目的として歯科医院を訪れた人を別にした設問とすることで、歯科健診を目的とした受診者をより正確に把握するために追加

対象: 全年代
和光市提案

歯の状況を、義歯の使用状況の有無別に把握するために追加

問8. あなたは、入れ歯、ブリッジ、インプラント等を使用していますか。（〇は1つ）

1. 使用している	2. 使用していない
-----------	------------

問9. あなたは、歯ぐきに炎症や歯周病がありますか。（〇は1つ）

1. 歯ぐきに炎症がある	2. 歯周病がある
3. 特にない	4. わからない

対象: 全年代
和光市提案

関連計画: 健康日本21(第二次)

和光市の現状を把握し、国と同様の指標を設定するために追加

【国の目標】

- ・歯肉に炎症所見を有する者の割合
20歳代: 25% (令和4年度)
- ・進行した歯周病を有する者の割合
40歳代: 25% (令和4年度)
60歳代: 45% (令和4年度)

●ライフスタイルや食生活について(2)

問12. あなたは、現在の食生活に満足していますか。（〇は1つ）

- | | |
|----------|-----------|
| 1. とても満足 | 2. まあまあ満足 |
| 3. 少し不満 | 4. とても不満 |

問13. ここ1週間くらいの食事の様子についてお伺いします。

あなたは次にあげる10食品群を週に何日ぐらい食べますか。（〇は1つずつ）

	ほとんど 毎日	2日に 1回	1週間に 1～2回	ほとんど 食べない
1) 魚介類	1	2	3	4
2) 肉類	1	2	3	4
3) 卵類	1	2	3	4
4) 牛乳	1	2	3	4
5) 大豆・大豆製品	1	2	3	4
6) 緑黄色野菜類	1	2	3	4
7) 海藻類	1	2	3	4
8) いも類	1	2	3	4
9) 果物類	1	2	3	4
10) 油脂類	1	2	3	4

対 象: 全年代

東京都健康長寿医療センター提案

食生活の満足度は食関連QOLとして、食生活全体の良好な状態を示す指標の一つとされている。

⇒食生活の満足度から食生活全体の状況を把握し、健康づくりの施策決定における資料とするため追加

【目標とする数値等】現在の食生活が「とても満足」、「まあまあ満足」と回答する者は、食生活全体の良好さと関連があり、健康度自己評価が高いとされている。

対 象: 全年代

東京都健康長寿医療センター提案

早期のフレイル対策として、地域高齢者の食生活を把握するため追加。

※「主食・主菜・副菜のそろった食事摂取 頻度」だけではなく、「食品摂取の多様 性」を評価することが重要。

【目標とする数値等】

食品摂取の多様性得点が高いということは、多様な栄養素の摂取や筋量・身体機能の低下抑制に関わるとされている。

●ライフスタイルや食生活について(3)

問14. あなたは、食情報について以下の行動ができると思いますか。（〇は1つずつ）

	強く そう思う	どちらか かという そう思う	どちらか かという そう思わない	あまり そう 思わない	全く そう 思わない
1) 新聞, 本, テレビ, インターネットなど, いろいろな情報源から食情報を集められる	1	2	3	4	5
2) たくさんある情報の中から, 自分の求める食情報を選び出せる	1	2	3	4	5
3) 食情報がどの程度信頼できるかを判断できる	1	2	3	4	5
4) 食情報を理解し, 人に伝えることができる	1	2	3	4	5
5) 食情報をもとに健康改善のための計画や行動を決めることができる	1	2	3	4	5

問15. あなたは、よい食生活を送れていると思いますか。また、今後はどのようにしたいと思いますか。（〇は1つ）

1. よい食生活を送れていると思っており、6か月以上継続している。今後も維持したい。
2. よい食生活を送れていると思うが、実行し始めて6か月未満。今後も継続したい。
3. よい食生活を送れているとは思っておらず、今後は1か月以内に実行しようと思う。
4. よい食生活を送れているとは思っておらず、今後は6か月以内に実行しようと思う。
5. よい食生活を送れているとは思っていないが、今後も特に変える気はない

対 象: 全年代

東京都健康長寿医療センター提案

主体的に良好な食生活を実践していくには、食生活リテラシーが高いことが重要であるとされている。

これまでの調査項目には食生活リテラシーに関する項目がなかったため、和光市民の現状を把握するため追加。

【目標とする数値等】

食生活リテラシーが高いということは、食情報を多く検索し活用していること、並びに適切な食行動の実践と正の関連があるとされている。

対 象: 全年代

和光市提案

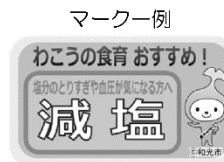
健全な食生活を実践できる市民の割合を把握するため追加

●ライフスタイルや食生活について(4)

問16. あなたは、「食育認定マーク」をご存じですか。（〇は1つ）

＊「食育認定マーク」：和光市独自に設定した基準値に達する商品を認定し、プラレールに食育認定マークを掲示しています。

1. はい 2. いいえ



問17. あなたは、「わこう食育推進店」をご存じですか。（〇は1つ）

＊「わこう食育推進店」：健康に配慮した商品の提供、健康的な買い方に関する情報提供等に 協力する店舗です。

【登録店舗】イトーヨーカ堂和光店・いなげや和光新倉店・
かつをぶし池田屋・駅前商店ひまわり・市内セブンイレブン全店

1. はい 2. いいえ



問19. 食事・飲酒・喫煙・運動習慣についておうかがいします。

(5) あなたは、普段1日果物を100g以上食べていますか。（〇は1つ）

（果物100gは、温州みかん1個、りんご1/2個、バナナ1本、キウイ1個程度）

1. ほとんど食べない 2. 100g未満
3. 100g以上200g未満 4. 200g以上

対 象：全年代
和光市提案
関連計画：第三次和光市食育推進計画

食育推進コンソーシアム会議における取組内容について認知度を把握するために追加

対 象：全年代
和光市提案
関連計画：健康日本21(第二次)
健康埼玉21
埼玉県健康長寿計画(第3次)

和光市の現状を把握し、国と同様の指標を設定するために追加
【国の目標】
・果物摂取量100g未満の者の割合30%
(令和4年度)

●ライフスタイルや食生活について(5)

問19. 食事・飲酒・喫煙・運動習慣についておうかがいします。(前頁の続き)

(11) 農産物を購入する際、埼玉県産や和光市産を意識して食材を購入しますか。

(自宅で作っている農産物も含みます)(〇は1つ)

- | | |
|---------|----------|
| 1. している | 2. していない |
|---------|----------|

(12) 行事食や郷土料理等、住んでいる地域の伝統料理を食卓に取り入れていますか。

(〇は1つ)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 積極的に取り入れている | 2. 少し取り入れている |
| 3. あまり取り入れていない | 4. 全くとりいれていない |

(13) 清涼飲料水・甘味飲料などは週にどれくらい飲みますか。(〇は1つ)

- | | |
|----------|----------|
| 1. 毎日 | 2. 週4～6日 |
| 3. 週1～3日 | 4. 飲まない |

(14) お菓子は週にどれくらい食べますか。(〇は1つ)

- | | |
|----------|----------|
| 1. 毎日 | 2. 週4～6日 |
| 3. 週1～3日 | 4. 食べない |

対 象: 全年代

和光市提案

関連計画: 第3次食育推進基本計画
埼玉県食育推進計画(第4次)

和光市の現状を把握するため追加

【国の目標】

・地域や家庭で受け継がれてきた伝統な料理や作法等を継承し、伝えている国民の割合
50%以上(令和2年度)

対 象: 全年代

和光市提案

関連計画: 第二次和光市食育推進計画

和光市の現状を把握するため追加

●ライフスタイルや食生活について(6)

問19. 食事・飲酒・喫煙・運動習慣についておうかがいします。（前頁の続き）

(15) 食生活について、気を付けている事はありますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. 特にない | |
| 2. 適正体重を保てる食事量にする | 3. 減塩、減糖、減脂に取り組んでいる |
| 4. 1日3食かかさず食べる | 5. 間食を控える |
| 6. 野菜を意識して食べる | 7. 主菜、副菜のバランスの整った食事をする |
| 9. 誰かと一緒に食事をする | 10. 食事の前後にあいさつをする |
| 11. その他（ ） | |

(16) 食の安全について、取り組んでいる事はありますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

- | | |
|---------------------------------|-------------------------|
| 1. 取り組んでいることはない | |
| 2. 食事の前に必ず手を洗う | 3. 消費期限や賞味期限を意識している |
| 4. 冷蔵庫に詰め込みすぎない | 5. 野菜と肉（魚）等を切るまな板を分けている |
| 6. 食品に表示されている保存方法を意識している意識して食べる | |
| 7. 生鮮食品は購入後、すぐに冷蔵庫等に入れる | |
| 8. その他（ ） | |

(17) 食品ロスを減らすために取り組んでいることはありますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

- | | |
|---------------------------------|--------------------------|
| 1. 特にない | |
| 2. 買いすぎない | 3. 買い置き食材の種類や量、期限表示を確認する |
| 4. 適切な保存方法を活用する | 5. 野菜の食べられる部分を捨てない |
| 6. 残さず食べる | 7. 料理を作り過ぎない |
| 8. 飲食店で注文しすぎない | |
| 9. 「賞味期限」が過ぎても捨てずに自分で食べられるか判断する | |
| 10. その他（ ） | |

対 象: 全年代

和光市提案

関連計画: 第3次食育推進基本計画

和光市の現状を把握するため追加

【国の目標】

・生活習慣病の予防や改善のために、
普段から適正体重の維持や減塩等に
気を付けた食生活を実践する国民の
割合

75%以上（令和2年度）

対 象: 全年代

和光市提案

関連計画: 第3次食育推進基本計画

和光市の現状を把握するため追加

【国の目標】

・食品ロス削減のために何らかの行動を
している国民の割合

80%以上（令和2年度）

・食品の安全性について基礎的な知識を
持ち、自ら判断する国民の割合

80%以上（令和2年度）

●ライフスタイルや食生活について(8)

問19. 食事・飲酒・喫煙・運動習慣についておうかがいします。(前頁の続き)

(20) あなたは、受動喫煙が与える影響について知っていますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 肺がん発生率の増加 | 2. 心臓の病気の発生率の増加 |
| 3. 脳の病気の発生率の増加 | 4. 肺や気管支の病気の発生率の増加 |
| 5. 赤ちゃんが突然死する病気の増加 | 6. 妊産婦への影響 |
| 7. 集中力の低下 | |
| 8. 知らない | |
| 9. 影響はない | |
| 10. その他（ ） | |

(21) あなたは、最近の1か月間に受動喫煙の機会がありましたか。

(○は1つずつ)

	あ っ た	な か っ た	行 か な か っ た
ア 家庭	1	2	3
イ 職場	1	2	3
ウ 飲食店	1	2	3
エ 遊技場	1	2	3
オ 行政機関（市役所など）	1	2	3
カ 医療機関	1	2	3
キ 公共交通機関	1	2	3
ク 路上	1	2	3
ケ 子どもが利用する屋外の空間（公園・通学路等）	1	2	3

(25) ロコモティブシンドローム（運動器症候群）を知っていますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------|------------|---------|
| 1. 知っている | 2. 聞いた事はある | 3. 知らない |
|----------|------------|---------|

対 象: 全年代

和光市提案

関連計画: 健康日本21(第二次)

日常生活における受動喫煙による健康への影響について、市民の認知度を把握するため追加

対 象: 全年代

和光市提案

関連計画: 健康日本21(第二次)

和光市民の日常生活における受動喫煙の状況を把握するため追加

対 象: 全年代

和光市提案

関連計画: 健康日本21(第二次)

埼玉県健康長寿計画(第3次)

ロコモティブシンドローム（運動器症候群）について、市民の認知度を把握するために追加

【国の目標】

認知している者の割合 80%(令和4年度)

【県の目標】

認知している者の割合 80%(令和5年度)

●社会活動について(1)

問20. あなたは、次のようなグループや団体に入っていますか。

入っているグループ・団体のすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）
（何にも入っていない場合は「1」に○をつけてください）

副問20-2. 上記のグループに入っていない理由にはどのようなものがありますか。
（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------|---------------------------|
| 1. 仕事や家事で時間がない | 2. 活動に興味が無い（参加したい活動がない） |
| 3. 人間関係が煩わしい | 4. 参加するのが面倒 |
| 5. 自分や家族のことを優先したい | 6. 何がしたいか、何をしたいかわからない |
| 7. 身体的理由 | 8. 経済的理由 |
| 9. 一緒に参加する人がいない | 10. 団体に所属はしていないが、自身で行っている |
| 11. 交通の便が悪く、参加できない | 12. 情報がない |
| 13. 引っ越して間もないため | 14. 家族の介護などの家庭の事情 |
| 15. 特に理由はない | 16. その他（ ） |

問21. 近所づきあいや、地域活動・余暇活動の中で、次のような年齢層の方と会話をする機会が、どのくらいありますか。ご家族や親戚、仕事関係の人は除きます。（○は1つずつ）

	よくある	ときどきある	あまりない	全くない
1) 子どもや10代の若者	1	2	3	4
2) 20～40代くらいの人	1	2	3	4
3) 50～60代くらいの人	1	2	3	4
4) 70代かそれより高齢の人	1	2	3	4

対 象：全年代
東京都健康長寿医療センター提案

社会参加無関心層の理由を探ることにより、社会参加促進の方策を構築することが可能となる。そのため、厚労省調査および内閣府調査を参考にグループ活動非参加者の理由を調査する設問を追加

対 象：全年代
東京都健康長寿医療センター提案

地域共生社会の実現に向け、地域住民同士の世代を超えたつながりの構築が求められている。これまでの調査項目には多世代交流に関する項目がなかったため、和光市民の現状を把握するため追加。

【目標とする数値等】

いずれかの世代の者と会話をする機会が「よくある」「ときどきある」と回答するものは精神的健康度が高いとされている。

●親族や友人・近隣との交流について

問30. あなたは、以下の機器を使用していますか。（あてはまるものすべてに○）

1 いずれの機器も持っていない・使っていない	→ 問31へ
2 パソコン	3 スマートフォン
4 タブレット端末（iPadなど）	5 携帯電話

2～5のいずれかに○をつけた方は次の問30-1をお答えください。

副問30-1 ソーシャルネットワークサービス(SNS)の使用状況についておうかがいします。

以下のサービスを使用する頻度は次のうちどれにあてはまりますか。（○は1つずつ）

	ほぼ毎日	週に数回	月に数回以下	使わない
(1) ライン（LINE）でメッセージのやりとりをする	1	2	3	4
(2) ラインで送られてくる情報を閲覧する	1	2	3	4
(3) フェイスブックを使って投稿する	1	2	3	4
(4) 友人などのフェイスブックのページを閲覧する	1	2	3	4
(5) ツイッターを使って投稿する	1	2	3	4
(6) ツイッターで配信されている情報を閲覧する	1	2	3	4
(7) インスタグラムを使って投稿する	1	2	3	4
(8) 友人などのインスタグラムの投稿を閲覧する	1	2	3	4

対 象：全年代

東京都健康長寿医療センター提案

社会的孤立は健康状態に悪影響を及ぼすリスクファクターであることが知られているが、SNSを介した「つながり」が、健康維持に有用な社会交流であるか否かは明らかではなく、本調査項目は健康行動評価として重要な調査項目となる。また、SNSを用いた市政情報（健康情報）の広報効果検証の一環となりえる。

●運動実施頻度と環境について(1)

問31. 以下の各項目について、あなたの運動時間についての数字を記入してください。

◆強い身体活動：身体的にきつと感じるようなかなり呼吸が乱れるような活動

◆中等度の身体活動：身体的にやや負荷がかかり、少し息がはずむような活動

*以下の質問では、1回につき少なくとも10分間以上続けて行う身体活動についてのみ考えて、お答えください。

(1) 平均的な1週間では、強い身体活動（重い荷物の運搬、自転車で坂道を上ること、ジョギング、テニスのシングルスなど）を行う日は何日ありますか。

週 ____ 日 1日 ____ 時間 ____ 分

*行っていない場合は「0」と書いてください。

(2) 平均的な1週間では、中等度の身体活動（軽い荷物の運搬、子供との鬼ごっこ、ゆっくり泳ぐこと、テニスのダブルス、カートを使わないゴルフなど）を行う日は何日ありますか？歩行やウォーキングは含めないでお答えください。

週 ____ 日 1日 ____ 時間 ____ 分

*行っていない場合は「0」と書いてください。

(3) 平均的な1週間では、10分間以上続けて歩くことは何日ありますか？ここで、歩くとは仕事や日常生活で歩くこと、ある場所からある場所へ移動すること、あるいは趣味や運動としてのウォーキング、散歩など、すべてを含みます。

週 ____ 日 1日 ____ 時間 ____ 分

*行っていない場合は「0」と書いてください。

対 象：全年代

東京都健康長寿医療センター提案

運動時間をより正確に評価するには、運動習慣だけでなく、生活活動における運動（通勤における歩行など）も含めることが重要であるため。

【目標とする数値等】

運動時間については、合計で150分以上／週が健康維持に有効である。テレビ視聴時間については、5時間以上／日の者は死亡リスクが高いとされている。

●運動実施頻度と環境について(2)

問31. 以下の各項目について、あなたの運動時間についての数字を記入してください。（前頁の続き）

- (4) 毎日座ったり寝転んだりして過ごしている時間はどのくらいですか？机に向かったり、友人とおしゃべりをしたり、読書をしたり、座ったり、寝転んでテレビを見たり、といったすべての時間を含みます。睡眠時間は含めないでください。

1日____時間____分

- (5) 平均的な1週間にテレビをみる時間は、1日平均してどれくらいでしたか。平日と休日に分けて、数字を記載してください（見ていない場合は「0」と書いてください）。

平日：____時間____分

休日：____時間____分

- (6) 1日あたりの平均睡眠時間（昼寝を含む）はどれくらいでしたか。（〇は1つ）

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 1. 5時間未満 | 2. 5時間以上6時間未満 | 3. 6時間以上7時間未満 |
| 4. 7時間以上8時間未満 | 5. 8時間以上9時間未満 | 6. 9時間以上 |

対 象：全年代
東京都健康長寿医療センター提案

運動時間をより正確に評価するには、運動習慣だけでなく、生活活動における運動（通勤における歩行など）も含めることが重要であるため。

【目標とする数値等】
運動時間については、合計で150分以上／週が健康維持に有効である。テレビ視聴時間については、5時間以上／日の者は死亡リスクが高いとされている。

対 象：全年代
和光市の提案

休養の状況など、健康状態に関する設問と睡眠時間との関係を把握するために追加

●地域での暮らしについて

問34. お住いの地域の人々は、お互いに助け合っていると思いますか。（〇は1つ）

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 強くそう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらとも言えない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. 全くそう思わない | |

対 象：全年代
和光市提案
関連計画：健康日本21（第二次）

和光市の状況を把握し、国と同様の指標を設定するために設問を追加
国の目標：居住地域でお互いに助け合っていると思う人の割合
65 %（令和4年度）

●日常生活で感じていること(1)

問40. あなたには居場所と思えるところがありますか。(〇は1つ)

1. ある 2. ない

副問40-1 次の場所は、今のあなたにとって居場所になっていますか。(あてはまるものの全てに○)

1. 自分の部屋	2. 家庭(実家や親族の家を含む)	3. 学校 (卒業した学校を含む)
4. 職場 (過去の職場も含む)	5. 地域(現在住んでいる場所や そこにある施設など)	6. インターネット空間
7. その他()		

問42. あなたは、以下の制度や相談窓口のことを知っていますか。(〇は1つずつ)

	利用しており、 知ったことがある	知っているが、 利用したことはない	知らない
(1) 生活に困ったとき、どこに相談したら良いか知っていますか。	1	2	3
(2) 「生活困窮者自立支援制度」を知っていますか。	1	2	3
(3) 就労支援（仕事を探す支援）の窓口がどこにあるか知っていますか。	1	2	3
(4) 介護についてどこに相談したら良いか知っていますか。	1	2	3
(5) お住まいの地域を担当している「地域包括支援センター」を知っていますか。	1	2	3

対 象:全年代
東京都健康長寿医療センター提案

自殺総合対策推進センターの提案により、
項目を追加

自殺総合対策大綱(2017年)では、子どもから高齢者まで、何らかの生きづらさを抱えた時に、孤独・孤立に陥ることなく、社会につながり、誰かに話したりすることによって、その悩みや生きづらさを解消していくことができる「生きることの促進要因」として、居場所づくりが重視されている。

また、何らかの生活を送る上で困難に直面した際に、相談できる窓口や適切な支援について周知していることが重要であり、情報の均てん化が喫緊の課題となっている。

● 日常生活で感じていること(2)

問41. あなたの悩みや不満、つらい気持ちを相談したいとき、誰を頼りますか？

（あてはまるものすべてに○）

1. 家族	2. 友人	3. 学校の先生 （卒業した学校を含む）
4. 職場の人 （過去の職場も含む）	5. かかりつけの医療機関 （精神科や心療内科等を除く）	6. 精神科や心療内科等の 医療機関
7. 保健所・保健センター等 公的機関の相談窓口	8. いのちの電話等民間機関の 相談窓口	9. 相談できる人や機関は ない
10. その他（ ）		

**対 象：全年代
和光市提案**

和光市民について、悩みや不満、つらい気持ちを相談できる人がいる、又は機関について周知しているかを把握するため追加

●ご自身のことについて

問45. あなたは現在、収入を伴う仕事（パート・アルバイト、家業の手伝い等を含む）を週に何時間くらい行っていますか。（〇は1つ）

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 20 時間未満 | 2. 20 時間以上 35 時間未満 |
| 3. 35 時間以上 60 時間未満 | 4. 60 時間以上 70 時間未満 |
| 5. 70 時間以上 | |
| 6. 仕事はしていないが、探している | 7. 仕事をしておらず、探していない |

**対 象: 全年代
和光市提案**

和光市の状況を把握し、国と同様の指標を設定するため追加

【国の目標】

・健康で豊かな生活のための時間が確保できる社会の実現に関する 社会全体の目標として、「週労働時間 60 時間以上の雇用者の割合」を5 % (令和4年度)とする。

●ご自身のことについて

問46. あなたの現在の雇用状況 は、次のどれにあたりますか。（〇は1つ）

【自営の仕事】	
1. 自営業主・自由業	2. 家族従業（家業などの手伝い）
【雇われている方】	
3. 正規職員・正規従業員	4. パート・アルバイト・契約社員
5. 嘱託	6. 人材派遣企業の派遣社員
7. その他の雇用者	
【団体等役員・その他】	
8. 会社・団体等の職員	9. 家庭での内職
10. その他（ ）	

**対 象：全年代
東京都健康長寿医療センター提案**

厚生労働省の調査では、「日本人の高齢者では、仕事を健康維持や老化防止の機会としてとらえている傾向がある」としていることから、和光市の労働者について、雇用形態や働く理由について状況を把握し、健康状態との関連性について把握するため、設問内容を変更。

問47. あなたが、現在働いている理由は何ですか。（あてはまるものすべてに〇）

1. 生活のための収入	2. 借金の返済
3. 小遣い程度の収入	4. 健康のため
5. 生きがい	6. 社会貢献・社会とのつながり
7. 時間に余裕があるため	8. 家族・知人などの勧め
9. 自分のスキルを活かせる	10. その他（ ）